

令和5年度

事業報告(案)

社会福祉法人白老宏友会

指定障がい福祉サービス事業

多機能型事業所 ポプリ

目 次

I、総 括	1～3
II、就労継続支援B型事業	3～6
III、生活介護事業	6～8
IV、日常生活支援	8～10
V、健康管理	10
VI、給食業務	10
VII、管理業務	10～11
VIII、利用関係状況報告	12
添付資料 年間活動一覧	13～14

I 総括

令和2年1月国内で初めて感染者が確認され、4年間に亘り世界を震撼させた新型コロナウイルス感染症は、令和5年度5月に重症化リスクの低い季節性インフルエンザと同類の5類へ引き下げられた。しかし、基礎疾患を有する者の感染については重症化リスクが高いことから政府より感染拡大防止のため5日間の自宅待機が推奨された。法人内においては、引き続き感染拡大防止対策を継続しつつ必要に応じて対策委員会を開催し、国が示す指針に基づき情勢に応じ段階的に対策マニュアルの見直しを行った。9月末と3月中旬に20名程度のクラスターが発生したが、感染拡大防止に努め大事には至らず事なきを得ることが出来た。

社会情勢については、未だロシアによるウクライナ戦略は終わることなく物価、燃料の高騰、電力の値上げが社会経済に大きな影響を及ぼし続けている。こういった背景により、国内では個人消費が低迷している。また、令和5年度は世界各地において気候変動による自然災害に見舞われ、国内においては元旦より最大震度7の大地震が能登半島を襲い多くの命が奪われた。こうした多くの問題を抱える中、政府においては、主動的立場である自民党の不祥事がこれまでに無いほど明るみとなり、根幹の揺らぎに対し、国民の多くが行政に対する不安を抱く年となった。

こうした大変厳しい時代を迎える中、当事業所の動向においては、前文のとおり流行性感染症対策を継続しつつ、非常災害時対策に留意し国が示す業務継続計画（BCP）に則り人命第一を指針においた他、節減を意識し事業運営を行った。また、10月より施行されたインボイス制度については、早期より準備を進めてきたことにより問題なく会計処理を行うことが出来た。

サービス等事業収入については、介護等給付費（生活介護）は長期入院者や感染症により前年度に比べ利用率は低下したが、重度加算取得に伴い3月の理事会にて補正を行い当初予算67,000,000円より69,500,000円へ調整を行い、前年度対比約1,204万円を増収し、結果69,634,250円の実績を収めることが出来た。訓練等給付費（就労事業）については、3月に2名の新規利用者を迎え前年度並みの利用率を維持することができ当初予算90,500,000円に対し、約54万円増額の90,745,565円を収めることが出来た。結果、障害福祉サービス等事業収入166,384,163円（令和4年度155,192,480円）と両サービス区分ともに当初予算以上の実績を収めることが出来た。期末資金残高については、退職給付積立金1,322,760円、工賃変動積立金1,850,000円、設備整備積立金に23,138,498円（内就労事業3,138,498円）の積み立てを行い当期資金収支差額-1,904,931円 当期末支払資金残高79,965,609円となった。

利用者支援においては、利用者の人権を尊重し個々の思いに寄り添い、主体性ある活動を通じて自立心を育み、自己判断、意思決定に主眼を置いた支援を行った。

就労事業については、令和4年度より徐々に社会経済が回復を見せ、令和5年度についても国内外より多くの観光客が訪れた。ウポポイ内テナント『sweets café ななかまどイレンカ』については、コロナ禍を経て修学旅行の実施時期が従来に戻ったことや、前年度までとは観光客などの動きが変わったことにより4月から3ヵ月間前年度実績を下回る売上となった。この状況を踏まえ、事業計画に加え新たに売上向上計画を策定し、就労事業の母体であるポプリ内パン工場との連携の中、看板製品となる新製品開発をはじめPRの手法や価格の見直しを行った。結果、努力が実を結び7月以降においては、目標売上金額を達成することができ前年度対比約100万円の増額となった。国立博物館における年間の入館者数は減少しているものの店舗

単体では、誘客の効果もあり増加。令和5年度については待望であったウポポイ開設当初に立てた計画に近い実績を収めることが出来た。また、令和4年度中央競馬馬主社会福祉財団より助成金の採択を受け部品不足により納入が先延ばしになっていたホットミックス菓子専用ミキサーが7月に設置され、パン工場の既存の設備に加え、更に機能性を生かした製品づくりや、量産化の推進を図ることが出来た。『ペーカリーショップ ななかまど』については、開業31周年を祝い店舗を支えてくれた地域の方への謝恩の想いを込め感謝祭を開催した他、年末年越し餅、新年初売りに多くのお客様で賑わいを見せ大盛況に終えることが出来た。国立博物館の開設に伴い、町おこし計画として駅北に観光協会が運営する観光インフォメーションセンターが開設され、JR白老駅構内も整備されたが、大町をはじめ白老町に観光客の回遊性が高まっている様子は見られない状況にあり、国立博物館と地域の連携を図ることが必要不可欠であると考えられる。こうした状況の中、売上向上を課題に取り組み、結果令和4年度並みの売上を維持することが出来た。

清掃事業においては、公共の施設内での活動ということもあり、感染予防対策に留意し取り組んできた他、給食事業を含む食品事業については日常的に衛生管理や食中毒防止対策に努めた。

どの部署においても、利用者の主体性を課題に置き個人の自立心を養っていけるよう支援を行ってきたことにより、活動を通じて一人ひとりが社会人として活躍することが出来るように支援を行った。

就労事業収入については予算9,619万円に対し96,000,495円の売上実績を収め、収支差益4,988,498円については、上記のとおり積み立てを行った。月額平均工賃については、令和6年度報酬改定に伴い、新たな算定方法に変わったことにより、49,846円を支給し収めることが出来た。(令和4年度36,446円)については、令和6年度より報酬単価最高枠である45,000円以上の基本報酬を取得することが決定した。

生活介護においては、引き続き『個別支援』を課題に、個人の特性を踏まえ療育、創作、知育、レクリエーション、生産活動を通じて自立心を育ていけるように支援を行った。また、四季を感じ充足した生活を営むことが出来るように季節に因んだ外出活動や、日帰り旅行を企画し実施した。利用者の日常的な健康管理として看護師による毎日のバイタルチェック、健康診断の総括及び、基礎疾患を抱える利用者の状態の把握、病、緊急時などの対応を行った。健康療法として毎日の朝礼時に音楽と映像を見ながら体操を行った他、運動不足解消、機能維持を目的とし、エアロバイクや歩行器などの器具を用いた運動を個別に取り組み習慣化に努めた。強度行動障がい(重度の知的障がい、自閉症スペクトラムなど)をはじめ、外的要因(視覚、聴覚)により情緒不安定となる特性を抱える利用者などの環境づくりとして、関係性に留意したグループの構成や、心穏やかに過ごしてもらえるよう映像を通じてBGMを流すなどの工夫を行った。また、視聴覚刺激を軽減するため個別スペースの整備や、イヤーマフを使用し支援を行った。生産活動については、地元食品会社より請け負っているフードパックラベル貼り作業に加え、自所製品の製造を主体とした事業の定着を目指し、引き続き自家焙煎珈琲豆、野草茶の売上向上を課題に取り組んだ。野草茶については、竹浦の借用地にエントを栽培し原料の確保に努めた。また、新製品としてあずき茶を9月に発売した。珈琲豆については不作に伴い仕入れ額が高騰したことから価格の引き上げを行ったが、売上は伸び悩み思うような結果を残すことが出来ず令和6年度の課題とする。

就労事業収入においては、当初予算330万円に対し3,313,152円の売上実績を収め、月額平

均工賃 6,561 円を支給することが出来た。GH より通所している利用者におきましては、地域生活支援センターと連携を図り、定期的なケース会議や情報交換を密にし、安心して充実した生活を送ることができるよう取り組んだ。在宅の利用者についても、利用者、保護者の意向に則し利用受入れを行った。日常的には従来どおり連絡ノートや送迎時に保護者と情報を共有しながら協力体制の中、支援した。

設備整備については、大規模修繕として屋根、外壁の一部修繕及び塗装を行った。また、塩害により車庫のシャッターの修繕及び交換を行った。事務所については、老朽化に伴いコピー機を更新。生活介護については、利用者の活動用椅子を一新した。就労事業については、ポプリ内パン工場に、上記記載のとおり助成金と自己財源においてホットミックス（菓子専用ミキサー）を購入。ベーカリーショップ ななかまど内工場の床の塗装の他、建物内の照明を LED 電球に交換、給湯器を更新。sweets café ななかまどイレンカにラベルプリンターを設置した。

災害時対策としては、引き続き地震、津波を想定した避難訓練の他、新たに防犯訓練を実施した。食品衛生講習会は講師を招き実施し口腔内ケアについては、これまで学んだ知識を生かし看護師を中心に日常的なケアに努めた。救急救命講習についても、白老町消防署へ講師を依頼し、例年通り救命に係る措置について職員全員が参加し学習した。

職員の研修については、個人の課題や制度改正に則し研修計画を立てコロナ禍を経て対面での研修に参加した。虐待事件は後を絶たず厚生労働省の統計においては年々増加傾向にあり、権利擁護に関する研修へ積極的に参加し、定例会を通じて虐待防止への職員の意識の向上と啓発を促した。令和 4 年度に続き、北海道知的障がい福祉協会が主催する権利擁護伝達研修を受講し、日高、胆振地方会において伝達者として講演を行った。また、生活介護職員においては、強度行動障害者に対する適切な支援を行うための養成研修を受講し専門的知識を深めた。

特定技能職員については、令和 4 年度に続き女性 2 名を新たに採用し、1 名をポプリに配置した。1 期の男性職員 2 名に続き、目指している目標への意識は高く、ひたむきな姿勢と努力は着実に実を結んでおり、当法人には欠かせない人材へと成長している。令和 5 年度については、国家資格取得に向け、法人本部にて週 2 回の勉強会を開始した。慣れない環境に文化の違いがある事を踏まえ、心身のバランスを整えることを目的に引き続き法人全体で協力し外出支援を行った。特定技能外国人の需要は福祉業界においても年々高まっていることから、外国人材拡大プレイスより実績のある事業所として講師依頼を受け全国を対象とした WEB 研修会にて講演を行った。

II、就労継続支援 B 型事業

■就労事業概要

利用者の社会参加や自立した生活を目指すため、主体性を持って参加できるよう支援を行い、財源となる就労活動収入の確保と工賃向上に努めた。

令和 5 年度は、新型コロナウイルスが 5 類に移行され、脱コロナを原動力とする景気回復が見込まれる事を想定し、就労会計目標売上（就労食品事業、給食部、清掃部含む）は 96,190,000 円に設定した。紛争の長期化や欧州経済の低迷などに加え、米国経済の影響をもたらす円安などが進み、エネルギーコストの上昇や食料価格等の高騰が著しく、個人消費が停滞する事が懸念されましたが、売上向上を課題に就労全体が一丸となって取り組んできた事で就労事業収入

実績は 99,104,843 円（事業収入の他、補助金収入等を含む）となった。目標としていた売上金額に到達するまでには至りませんでした。各部署内で仕入れ原料の見直しや価格の改定、光熱費等の削減などにも着手してきた事で支出が 94,116,345 円となり、収支差額が 4,988,498 円のプラス計上となった。そのため、工賃変動積立金に 1,850,000 円と設備整備積立金に 3,138,498 円の積立を行った。利用者工賃については 20,217,568 円を支出した。平均工賃額については、令和 6 年度の平均工賃算定方法が見直されたことにより一人当たりの平均工賃額が 49,846 円（前年度 36,446 円：13,400 円の増額）となった。

■食品事業

令和 5 年度については、引き続きお客様に愛される店舗づくりを課題（クオリティの高い製品作りと安心な製品提供）に、毎月一回の就労会議を開催し、課題（店舗販売、製造、衛生管理、健康管理など）の振り返りや売上状況などを把握し、全体で共有を図りながら意識を高めてきた。また、安全に事業運営ができるよう、HACCP の考えに基づいた衛生管理の実施と、外部委託（株式会社ダスキン）による衛生検査を 8 月と 12 月に行い、衛生状況の把握と改善に努めた。

ポプリパン工場では、パン・菓子・餅の製造を行い、各店舗（ななかまど、sweets café ななかまど イレンカ）や取引先（福祉施設関係、保育園、学校関係、各飲食店等）の他、白老町ふるさと納税返礼品事業、ななかまど店舗直送販売事業を継続して行った。新たな事業としてコープさっぽろトドックに参加し、利用者の社会的自立と事業収入の確保に努めた。

製造面においては、利用者が主体的に参加し、効率的に量産できるよう馬主協会から助成を受けた菓子専用ミキサーを有効的に活用し、カップチーズケーキや米老菓などの量産に努めた。他、新製品としてチーズスフレの開発を行い、イレンカ店にて販売した。利用者の機械の操作については、ケガや事故に繋がらないよう安全面に配慮した。

リピーターを増やすため、研鑽を積み新製品の開発や、付加価値ある製品づくりを意識し取り組んだ。また、特に繁忙期には品切れにならないよう原材料等の確保に努めた。

技術面においては、新製品の開発と安定的な製品作りを目的に木田製粉株式会社の技術者を招いて製パン講習会を実施した。

ななかまどについては、お客様に愛される店舗づくりを目指すため、親切・丁寧な接客と安定した製品提供を行い、集客・売上維持向上に努めました。感染症対策を実施しながら季節に合わせたフェア、周年記念感謝祭、初売りセール、阪急交通社バスツアー受入れを行った。周年記念感謝祭では、新製品として「シフォンランクサンド」、「白老和牛と鹿肉のカレーパン」、「チキンバケット」を販売した。他、町内の小学生を対象とした第 2 回アイデアパンの募集を企画した。また、店舗裏駐車場にて特設会場を設け実演販売や製品を購入されたお客様に特典としてガラポン抽選会を開催した。昨年度を超える売上となり、日頃の感謝の気持ちをお客様に伝えることが出来た。

その他では、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化による燃料、物価の高騰に伴い、4 月に製品価格の値上げを実施した。他、包装資材の見直しや店舗内の照明関係を全て LED に交換するなど、経費節減に努めた。また、集客率向上の為、SNS 等の媒体を有効に活用した宣伝活動を実施し、Instagram は約 1,000 人のフォロワー、公式 LINE アカウントは友達登録者数が約 500 名となり着実に増加している。食品ロス対策として通信販売（リメイク）を継続的に実施

し、年間で約 130 件の注文を受け発送した。

sweets café ななかまどイレンカ店については、北海道、白老近郊の食材を使用した「ここにしかない」付加価値のある製品を提供するため、令和 5 年度は主力製品（チーズカップケーキ、アップルパイ）を始め、お土産製品や自家焙煎珈琲、愛泉園製品の物販を行った。

また、新製品としてチーズスフレとアイヌ食材でもあるヒエや南瓜を使用した団子を販売した他、期間限定でサンドウィッチや、季節限定ソフトクリームの販売を企画し売上向上に努めた事で、過去最高額の売上を収める事ができた。

以上の事を踏まえ、将来的に利用者が安心して『働ける環境を確立』し、豊かな生活を営むための『工賃財源の確保』を保持していくためにも、民間企業同様の視点を持ち、時代の流れを絶えず察知しながら新しい物に目を向けた事業運営と危機感や探求心を持ちながら取り組む姿勢が不可欠であると考えます。

1) 利用者支援

利用者主体の就労現場を意識し、利用者個人が就労意識や自立心を高め、就労活動を通じて社会性を養っていきけるような環境づくりに努めました。就労活動において、個人が抱える問題や悩み、また課題を明確にし、利用者一人ひとりが想いを主張し、目的に則した形で活動を行っていきけるように、定期的に利用者会議を行うなど、個人目標を立ててもらい活動を行ってきた。

個別の支援では一人ひとりの障がい特性を理解し、得意とする作業内容を選定し技術の習得と向上に努めました。技術の習得や成長には個人差は見られますが、社会性及び作業性共に個々の成長が見受けられた。

令和 5 年度については、更に利用者の主体性を高め、同時に作業意欲の向上を目指していくため、利用者個々の特性に合った活動を提供し、必要に応じて職員がサポートを行った。就労学習会では、食事マナーや活動の振り返りと、視察研修（札幌方面と登別方面の原料生産工場やパン・菓子店の見学）を企画し、社会性や就労意識の向上に繋げた。

2) 衛生保持、危機管理

食品を取り扱う部署としての意識を高めるため、日常的に必要な情報、知識等を適宜周知し食中毒や異物混入の防止に努めました。また安全な食品提供を行うため、作業場内の衛生保持に努め、白衣の点検、うがい手洗いの徹底を図った。

危機管理においては、基本的に危険な機器を扱う部署でもあるため、機械の使用については職員の許可がある者に限定すると共に、取り扱いの注意を随時促すなど予測できる危険、事故については日常的に職員が目を配り事故防止に努めた。

3) 設備整備

パン工場：ホットミックス（菓子専用ミキサー）1台

ななかまど：作業場内床塗装

給湯器の更新

店舗内の照明を LED 化

イレンカ：ラベルプリンター・・・1台

■給食事業

就労事業として給食業務の実施を行い、利用者の個々に合った作業を提供することにより技術の習得や責任感を培うことができた。また、給食会議に参加することにより職員との意見交換ができ、作業意欲の向上、社会人として意識を養う機会とした。利用者の健康面を考慮し肥満食、刻み食などの提供を行った。特別給食については、感染対策を講じながら6月にBBQ、8月に流しそうめんを行った。

作業面においては、安全面に配慮し、衛生管理の徹底を図った。特に食中毒に細心の注意を払い、手洗い、消毒、適正な処理等、事故防止に努めた。

調理以外の作業として布巾縫いを行い、実生活でも役立つ取り組みを行った。

■清掃事業（施設外就労）

令和5年度も施設外就労として総合福祉センターいきいき4・6の清掃業務を行いました。白老町より委託事業を請け白老町総合保健福祉センター（いきいき4・6）の日常清掃業務の活動を実施した。地域住民が日常的に利用する公共施設内で行う委託事業であるため、地域との繋がりを大切に、評価、信用性を第一に意識するなど、業務上における事故防止などの安全に配慮し、日常業務に努めた。また、業務を通じて利用者個人が社会性や自立心を養い、作業技術の向上を図っていくため、月一回の支援者会議を行うなど、日常的に支援、指導を実施した。

Ⅲ、生活介護事業

利用者の障がい特性に応じた「個別支援」を課題に、ニーズに対応した活動の提供、関係性を考慮した環境を構築し、安定した日常生活が送れる様、支援を行った。

生産活動では、珈琲豆焙煎・野草茶製造作業、下請け作業等を行う中、過度な負担とならないよう、季節に応じた創作・外出活動を企画・実施し、作業意欲の維持や向上、気分転換を図り、安心して活動が行える様に支援をした。日中は大型モニターからBGMや映像を流し、穏やかに過ごしてもらえよう環境を整えた。また、リズム体操を取り入れ残存能力と体力の維持に努めた。軽運動（電動ウォーカー、エアロバイク・散歩・芝生を利用した活動）や、知育を主とした活動を行い情緒の安定を目指した。

強度行動障がい者（重度の知的障がい、自閉症スペクトラム等）の支援にあたり、強度行動障がい支援者基礎研修を受講し、個々の障がい特性に応じた活動内容の研鑽や、視聴覚刺激を軽減するため個別スペースの整備、関係性に配慮したグループの構成に努めた。

日高胆振地方会が主催するパークゴルフ大会に参加し、個人戦1位、団体戦2位を獲得し、法人との交流を深める機会とし、有意義な時間を過ごすことが出来た。

個人の活動として詩吟を習っている利用者が、北海道吟者吟道全国大会予選会、全国優秀吟者吟道大会において優勝し優秀な成績をおさめた。

医療体制では、ポプリ専従の看護師を2名体制で配置をする事で、利用者の健康管理や安全面、口腔内ケアの実施、緊急時の対応に配慮した。

令和5年度に、特定技能実習生の採用を実施し、人材育成を行うと共に利用者の「個別支援」の更なる充足を目指した。

【生産活動】

■自家焙煎珈琲

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことを受け、「ななかまど」や、国立博物館ウポポイ（民族共生象徴空間）「Sweets café ななかまどイレンカ」、みらいえ「ジェラテリア ミナ・ピエノ」等、安定したお客様の購買状況が見られ、固定顧客を含めて定期的な注文や販売を行った。5月に物価上昇により全製品の価格を見直し値上げをした。収益に関しては、総額約140万円の売上を計上した。

■野草茶

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことを受け、「ななかまど」や、国立博物館ウポポイ（民族共生象徴空間）「Sweets café ななかまどイレンカ」、「白老町インフォメーションセンター」等、安定したお客様の購買状況が見られた。野草茶の原材料であるクマササについては、6月から7月にかけて、森野で約50kgの採取や、竹浦の借用地においてエントの種を蒔き、11月に約5kgを収穫した。9月には新商品の「あずき茶」を製品化し販売した。5月に物価上昇により全製品の価格を見直し値上げをした。固定顧客を含めて安定した注文・販売があり、年間を通して総額約50万円の売上を計上した。

■フードパックラベル貼り作業

ダイエットクックより、安定したラベル貼り作業の依頼があり、同法人施設「みらいえ」と作業を分担して行った。令和5年度は昨年とほぼ同額の488,378円の売上を計上した。

■印刷作業

名刺作成作業では、法人内・役場・町内民間業者・札幌視覚支援学校等を中心に注文を受けた。点字の名刺が多岐にわたって定着してきたものと思われる。令和5年度は、企業間での人の往来も回復している傾向も見られており、年間を通して名刺の受注があり、65,566円の売上を計上した。

以上、令和5年度の収入は3,313,152円となり、昨年度収入3,187,901円と比較して125,251円の増収となり、月額平均工賃6,561円を支給することが出来た。

【創作活動・療育活動・余暇活動・外出活動】

創作活動では「5月企画」「6月企画」「七夕企画」「ハロウィン企画」「2月企画」「3月企画」等、季節に合わせて活動を実施した。月々の活動で創作された作品を館内で展示する事で、創作意欲の向上に繋げることが出来た。9月に行われた「みんなあーと2023」に作品を応募し、入選作品の中で来場者一般投票による「かでのチャンピオン」を受賞した。

共生型事業所「はあもにい」の調理室を利用した「料理教室」は、感染症予防対策を行い実施した。

療育活動については、軽運動（ウォーキング・エアロバイク・電動ウォーカー）や、屋外での活動（芝生での軽運動）、看護師指導による姿勢や体幹を整える為の体操、口腔内ケアに努めた発声練習等を継続して実施した。プール活動は、感染症対策を行い5月～10月まで実施した。各活動時は感染症予防対策の為マスクの着用や手指の消毒、検温を実施し、安全対策を講じながら行った。各活動については適度な運動時間の確保・気分転換に努め、情緒の安定に

繋げることが出来た。

余暇活動のカラオケでは4班に分けてポップ2階食堂を使用して、毎月カラオケを実施しており、歌うことで情緒の安定や気分転換にもつながり、余暇の充実を図ることが出来た。

外出活動は、季節に合わせ「水芭蕉見学」「花見」「果物狩り」「夏季レクリエーション」「秋季レクリエーション」を企画し実施した。

「日帰り旅行」については、利用者個々のニーズを汲み上げ企画し、自らの意思決定により、数点の旅行先から「デイキャンプ」「木下大サーカス」「千歳水族館見学」「新千歳空港グルメツアー」を選択し実施した。各行事に参加する事で情緒の安定や気分転換に繋げることが出来た。

IV、日常生活支援

- ・基本的な社会生活（挨拶・返事・マナー・ルール）の確立

日中活動を通じて社会的なマナーや身だしなみなどについて各部署にて必要な情報を提供し、利用者自ら問題を提起し話し合いが出来るよう支援した。

- ・自治会活動への支援

- ・基本的な社会生活（挨拶・返事・マナー・ルール）の確立

日中活動を通じて社会的なマナーや身だしなみなどについて各部署にて必要な情報提供を行い、利用者自ら問題を提起し話し合いが出来るよう支援した。

- ・自治会活動への支援

令和5年度の自治会活動に関しては、毎月1回の誕生会と全体会の他に、二十歳を祝う会や新入職員の利用者歓迎会を利用者主体で実施し、必要に応じてサポートした。二十歳を祝う会では、主役の2人は着物を着用し、明るく装飾された華やかな雰囲気の中行われ、法人より記念品として腕時計を、仲間の会より記念写真を贈呈した。利用者歓迎会では、和やかで温かい雰囲気の中、2名の方を迎え入れ、自治会会長から歓迎の挨拶をした。

その他、活気を持って日々の活動に参加していけるよう月間表彰を行い、個々のモチベーション向上に繋げた。

- ・行事の実施

令和5年度の行事については、全体行事としてBBQと流しそうめんを行った。また、各部署で社会参加や自立を目的とした行事を企画し実施した。

- ・その他

上記にて報告しているパークゴルフ大会における優秀な成績、障がい者芸術祭、障がい者雇用支援月間ポスター写真コンテストの入選の他、詩吟全国大会において優勝した利用者を対象に仲間の会が主催する全体会にて功績を称え表彰を行った。

<主な行事内容・その他>

日程	主な行事内容・その他
4月	水芭蕉見学（生活介護） 新任職員歓迎会
5月	GW営業（ななかまど・イレンカ） 春季就労学習会：ナチュの森視察（ななかまど・清掃部） 桜見学（生活介護）
6月	果物狩り：イチゴ（生活介護） 夏季就労学習会：果樹園見学（ななかまど・清掃部） ポプリ特別給食 BBQ ポプリ仲間の会総会
7月	果物狩り：サクランボ（生活介護） 新店舗見学会：ミナピエノ見学（ななかまど・清掃部） 夏フェア（ななかまど） ウポポイ周年記念ウィーク
8月	食品衛生講習会（ダスキン）：パン工場、ななかまど、給食部 日高・胆振地方会パークゴルフ大会 夏季就労学習会：札幌方面工場見学（パン工場・給食部） 新店舗見学会：ミナピエノ見学（パン工場・給食部） 夏季就労学習会：札幌方面・小樽方面・恵庭方面（ななかまど・清掃部） ポプリ特別給食：流しそうめん
9月	夏季就労学習会：苫小牧方面（ななかまど） 夏季就労学習会：札幌方面工場見学（パン工場・給食部） 日帰り旅行：デイキャンプ（生活介護） パン技術研修：ななかまど・パン工場 障がい者芸術祭 みんなあーと 2023 「かでのチャンピオン」佐々木健夫さん 障がい者雇用支援月間ポスター写真コンテスト 「高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長奨励賞」伊東富士夫さん 全国優秀吟者吟道大会 「優勝」高橋美雪さん
10月	日帰り旅行：木下サーカス、千歳水族館、千歳空港グルメツアー（生活介護） ななかまど 31 周年記念感謝祭 就労学習会：札幌方面見学（パン工場） ハロウィンフェア
11月	ウポポイ無料開放日 お歳暮餅企画 秋季企画：ポロト散策・焼き芋作り（生活介護）
12月	冬季就労学習会：調理学習（ななかまど・清掃部） 冬季就労学習会：一年の振り返りと反省（パン工場・給食部） クリスマス・忘年会（生活介護） クリスマスフェア 年末餅事業

1月	初売り 二十歳を祝う会 決起集会（ななかまど、清掃部） 新年会（生活介護）
2月	節分 バレンタインフェア 冬季就労学習会：目標の振り返りと次年度の目標について（パン工場、給食部）
3月	新利用者歓迎会
自治会活動	・自治会活動については、利用者が中心となり各種事業を円滑に進められるようバックアップを行った。 <主な活動> ・毎月一回誕生会と全体会 ・月間表彰の実施。 ・二十歳を祝う会

V、健康管理

年1回の健康診断を実施した。その他、食後の歯磨き習慣、毎月の体重測定などを行った。健康診断については、検査結果により、本人、保護者、家族、又GH利用者は看護師や地域支援センターあぶろと連携しながら必要に応じて再検査や受診を勧めるなどの支援を行った。

インフルエンザ対策（予防接種・室内の保湿）やノロウイルスをはじめとする感染症、新型コロナウイルスの感染防止策として、マスクの着用や手洗い・手指消毒の励行、毎日の検温、次亜塩素酸水やアルコールによる消毒を行った。

まん延防止措置として白老町と連携し、利用者、職員がコロナワクチン接種を任意で行った。

歯科衛生講習会は、感染症予防により歯科衛生士の派遣依頼は中止し、看護師を中心に口腔内ケアを実施した。職員が、定期的にブラッシングの仕方や仕上げ磨き、歯ブラシの状態などを確認した。

苫小牧保健所の職員を招き、利用者さん向けに行っている食品衛生講習会も今年度は中止した。

VI、給食業務

安心、安全な給食提供に配慮し実施しました。利用者への嗜好調査などを実施し、出来る限り要望にこたえ、季節感のある食事や行事食などの工夫を行った。

給食製造は食品事業給食事業部への作業委託とし、利用者2～3名に対し職員2名～3名の体制で技術支援を行いながら進めた。

その他、特別給食として流しそうめん、BBQを提供した。

VII、管理業務

日常業務では、業務効率、安定した事業運営のための研鑽を行いながら事務処理の適正化を目指し業務を遂行してきた。法人内部研修（事務部会）を重ねて事業所相互の協力と連携をはかり、様々な課題提起とスムーズな問題解決に繋がるよう取り組んだ。

施設管理では、ポプリ建物の大規模修繕として、屋根外壁の塗装補修を行った。ポプリ事務所、工場事務所、ななかまど事務所のコピー機をリース契約し、大幅なコスト削減につなげた。

研修関係では、主に生活介護事業の支援の充実を目指し、強度行動障害者支援従事者研修を重点に、職員のスキルアップに繋がる講習を受講した。

衛生・健康管理面では、毎日朝・夕方の館内消毒（トイレ、共用部分を中心に）を継続し感染症、食中毒防止に心がけた。冬季のインフルエンザ流行時期を前に集団予防接種（任意）、ノロウイルスはじめ感染症の予防強化、加湿器による活動室の湿度保持と換気などの工夫を含め、施設内での感染防止に力を入れて行った。新型コロナウイルス感染予防も含めさらに強化し、ワクチンの集団接種を町と連携し法人全体で行った。備品消耗品の確保・備蓄に努めた。

防災・危機管理に関しては、津波を想定しての避難訓練を実施し利用者誘導の際の注意点や問題点を確認し、災害時の安全確保・心得、避難時の感染対策など学習する機会を持った。

広報活動では、従来の法人機関紙の発行、SNSを活用し店舗商品・イベントの宣伝など当施設の情報を発信した。

苦情解決・虐待防止などに関しては、日頃より些細な利用者間のトラブルや悩み、家族の相談などに対し職員が都度時間をおかず直接対応し調整・解決すること、フォローアップを継続して行うことで、苦情としての取り扱いはなかった。

実習等に関しては、高等養護学校の卒後を見越した実習や中学校の職場体験、行政からの紹介による医療機関退院後の相談が受けた。その後、養護学校新卒1名、行政紹介者1名の新規利用契約を行った。日中一時支援事業の利用受入はなかった。

VIII 利用関係状況報告

就労活動収支	就労事業収入	99,313,647 円 (就労B 96,000,495 円 +生活介護 3,313,152 円)
	その他収入・積立金取崩	1,064,800 円・補助金収入 1,980,000 円・寄付金 59,530 円・定期預金利息 50 円
	就労事業支出	94,384,729 円 (就労B 91,071,545 円 +生活介護 3,313,184 円)
	その他支出・固定資産取得支出	3,044,800 円・当年度積立金 4,988,498 円
利用者工賃実績	総支給額	22,251,588 円 (就労B 20,217,568 円 +生活介護 2,034,020 円) (※前年度総支給額 22,338,113 円)
	就労B事業 月額平均額 1名	49,846 円
	生活介護事業 月額平均額 1名	6,561 円

<定員構成>

*6年3月31日現在

	定員	契約数	男	女	入所者	退所者	備考
生活介護	20	26	17	9	0	0	
就労継続支援B	40	48	34	14	2	0	・入所：地本姫、齋藤哉
合計	60	74	51	23	2	0	

<年齢構成>

	10代	20代	30代	40代	50代	60歳以上
生活介護	0	7	6	4	5	3
就労B	1	8	8	16	14	1
合計	1	15	14	20	19	4

最高齢者 74歳 / 最年少者 18歳 / 平均 41.7歳

<在籍年数>

入所年度	5	4	3	2	1	30	29	28	27	26	25	24
生活介護	0	1	0	0	1	0	3	1	2	3	0	1
就労B	2	1	0	1	2	0	1	2	1	0	3	0
合計	2	2	0	1	3	0	4	3	3	3	3	1

入所年度	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12
生活介護	0	2	1	1	0	2	1	0	0	0	2	4
就労B	2	1	3	0	1	0	1	3	1	1	10	12
合計	2	3	4	1	1	2	2	3	1	1	12	16

平均

生活介護 14年 1か月

就労B 16年 1か月

<障害区分>

療育手帳	A	B	なし	精神	身障
生活介護	17	8	1	(1)	(4)
就労B	11	36	1	(1)	(5)
合計	28	44	2	(2)	(9)

区分	2	3	4	5	6
生活介護		2	12	5	7
就労B					
合計	0	2	12	5	7

<居住別>

	自宅	GH
生活介護	10	16
就労B	23	25
合計	33	41

生活介護平均区分 4.65

<出身地別>

	白老町	登別市	苫小牧	札幌市	室蘭市	千歳市	江別市	伊達市	三笠市	浦河町
生活介護	13	1	8	1	1	0	1	0	1	0
就労B	22	6	9	2	4	1	1	1	0	1
合計	35	7	17	3	5	1	2	1	1	1

73

令和5年度の動向

	施設業務関係	就労B・生活介護事業関係	研修・行事他
4月	辞令交付式・永年勤続表彰 仲間の会歓迎会 各種会議 (支援会議、職員会議、ケース会議、 部署会議、運営会議、管理者会議) 会計事務所任意監査 特定技能外国人受入	利用者工賃4年度期末手当 (生) カラオケ・療育、創作活動・ 水芭蕉見学 (就) 期末手当支給、物置設置	利用者全体会 利用者誕生会 強度行動障害 WEB 研修 パン技術講習会 ふるさと納税説明会
5月	法人幹事監査 決算理事会 各種会議 共生型事業会議 日高・胆振地方会理事会・総会	(生) カラオケ・プール・療育、創作活動 料理教室・桜見学 (就) GW 営業・よもぎ採取・ 就労学習会・衛生検査 イレンカガラスフィルム交換	利用者全体会 利用者誕生会
6月	コロナワクチン接種 理事会・評議員会 各種会議 消防設備点検 高圧電気設備点検 室蘭養護実習生受入れ	(生) カラオケ・プール・ 療育、創作活動・ 果物狩り・料理教室 (就) 就労学習会	仲間の会総会 利用者全体会 利用者誕生会 特別食(野外 BBQ) 法人内幹部ハラスメント研修 日高・胆振支援研究委員会
7月	大規模修繕工事入札 コロナワクチン接種・健康診断 各種会議 会計事務所任意監査 避難訓練 経専専門学校実習生受入れ	(生) カラオケ・療育、創作活動・ 料理教室・果物狩り (就) 就労学習会 函館馬主協会寄贈菓子用ミキサー設置 ななかまど夏フェア ななかまどバスツアー受入れ ウポポイ周年記念ウィーク	利用者全体会 利用者誕生会 メンタルヘルスマネジメント研修
8月	大規模修繕工事(屋根、壁塗装) 夏期休業 各種会議 防災訓練 オンブズマン訪問 札幌国際大学実習生受入れ 文教大学インターシップ 受入れ	利用者工賃夏期手当 (生) カラオケ・プール・療育、 創作活動・夏季レク(盆踊り) (就) 就労学習会 食品衛生協会巡回 ななかまど照明器具 LED 交換	利用者全体会 利用者誕生会 特別食(流しそうめん) 虐待防止・権利擁護指導者養成研修 管理者権利擁護特別研修 日高・胆振地方会パークゴルフ大会 ご近所野菜市開始(9月まで)
9月	大規模修繕工事(屋根、壁塗装) 法人幹事監査・理事会 飯島監事 法人内視察 各種会議 サービス調整会議・モニタリング 会計事務所任意監査 函館馬主協会来所(設置確認) 栄高校インターシップ 受入れ	(生) カラオケ・プール・ 療育、創作活動 外出活動(デイキャンプ) みんなあーと(障がい者芸術祭) 作品出品 (就) 就労学習会 ちびフェス ななかまどバスツアー受入れ	利用者全体会 利用者誕生会 強度行動障害基礎研修 災害対策研修会 看護師専門研修 パン技術研修会 特定技能外国人法人内勉強会開始(毎週火・ 金曜日)

10月	大規模修繕工事（屋根、壁塗装） インフルエンザ予防接種 各種会議 白老町国有地砂利整備 事務所、食堂ｽｰﾌﾞ更新	生) カラオケ・療育、創作活動・ 料理教室 日帰り旅行・ハロウィン企画 就) ななかまど感謝祭 ハロウィンフェア 就労学習会	利用者全体会 利用者誕生会 強度行動障害基礎研修 ハラスメント防止研修 コンプライアンス研修 エンダーメンダー研修 共生型事業多文化交流事業
11月	インフルエンザ追加接種 コロナワクチン接種 法人幹事監査 各種会議 会計事務所任意監査 防災訓練 商工会優良従業員表彰	生) カラオケ・療育、創作活動・ 料理教室 日帰り旅行・秋企画（焼き芋） 就) お歳暮餅受注開始 ウポボイ無料開放日 ななかまど工場床塗装	利用者全体会 利用者誕生会 救急救命講習会 全国的障害研究大会 日高・胆振地方会支援研合宿研修 権利擁護伝達研修講師：中道課長 接遇講習会
12月	コロナワクチン接種 冬期休業 法人幹事監査 理事会 各種会議 消防設備点検 平取養護学校実習生受入れ	利用者工賃冬期手当 生) クリスマス忘年会・カラオケ 療育、創作活動 就) ななかまどクリスマスフェア・お歳暮 年越し餅販売・就労学習会 衛生検査	利用者全体会 利用者誕生会 権利擁護指導者研修 小型車両講習会
1月	冬期休業 臨時理事会 各種会議 会計事務所任意監査 集団指導（書面） 日高胆振地方会理事会	生) カラオケ・療育、創作活動・ 新年会、料理教室 就) ななかまど初売り・就労学習会	仲間の会二十歳を祝う会 利用者全体会 利用者誕生会
2月	各種会議 サービス調整会議・モニタリング 伊達高等養護学校実習生受入	生) カラオケ・療育、創作活動 就) 就労学習会 ウポボイ休館（19日～29日） ななかまどバレンタインフェア	仲間の会総会 利用者全体会 利用者誕生会 外国人材拡大プレス講師：杉本課長 権利擁護伝達講習
3月	各種会議 三者面談 法人幹事監査・理事会 会計事務所任意監査 避難訓練・防犯訓練	生) カラオケ・創作活動 就) 棚卸 食品衛生講習会 ななかまど春爛漫フェア	仲間の会歓迎会 利用者全体会 利用者誕生会 強度行動障害実践・基礎研修
4月		利用者工賃5年度期末手当	